

# 令和3年度 宇都宮市立一条中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### （1）基本目標

豊かな心と健やかな体を持ち、自ら考え行動するなど、意欲を持って自主的・創造的に生きることができ、日本はもとより国際社会に貢献できる人間を育成する。

### （2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・自ら学び自ら考える生徒（確かな学力）
- ・認め合い協力する生徒（豊かな心）
- ・明るくたくましい生徒（健康や体力）

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ「潤いのある学校・活力のある学校・開かれた学校」

生徒一人一人を一条地域学校園の中で、小・中・地域の連携協力のもと、よりよく成長させるために、教職員、保護者、地域が相互に関わりをもち、学校経営を展開することが重要である。そのために3つの柱からなる目指す学校像を設定した。

- ・居甲斐のある学校にするために、ボランティア活動、体験活動、道徳科の指導の充実による心の教育の推進を図る潤いのある学校
- ・諸教育活動のワンステップアップを目指し、子どもの良さを伸ばす活力のある学校
- ・保護者や地域住民など地域人材の協力を得た教育活動や情報発信を推進する地域に信頼され開かれた

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

### （1）潤いのある学校

- ・人権尊重の精神を基盤として、すべての教育活動を展開する。
- ・生徒の主体的な活動を推進し、自己有用感を味わわせる。

### （2）活力のある学校

- ・授業力の向上を図る。
- ・きめ細かな特別支援教育、教育相談、生徒指導を展開する。
- ・体力の向上と健康教育の推進を図る。
- ・GIGAスクール構想の具現化を図る。

### （3）開かれた学校

- ・地域人材等、教育資源の有効活用を図る。
- ・社会に開かれた教育課程を編成する。
- ・学校支援団体との連携強化に努める。

[一条中学校地域学校園教育ビジョン]

基本をしっかり身に付け、地域に生きる子どもを育む一条地域学校園

## 4 教育課程編成の方針

- （1）日本国憲法、改正教育基本法、学校教育法及び新中学校学習指導要領の関係法令、及び県教育行政基本方針、市教育委員会管理運営規則、市学校教育スタンダードの示すところから従い本校教育課程を編成する。
- （2）地域や学校の実態を踏まえ、生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮し、生徒の人間として調和のとれた育成を目指して特色のある教育課程を編成する。
- （3）市の小中一貫教育カリキュラムの趣旨を生かし、学校教育全般にわたる教育活動の充実を目指して、適切な運用が図れるよう配慮して編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営
○家庭・地域社会や各種団体、関係諸機関との連携を密にし、学校教育への理解と協力を得ながら、地域学校園の中心として、開かれた学校づくりの推進に努める。
・教職員間で連携した指導を行うとともに、業務遂行の効率化を推進する。
(2) 学習指導
・県、市の教育推進計画に基づき、主体的対話的で深い学びの実現を目指す。
・習熟度学習・TTを充実し、学ぶ意欲の向上を図る。
・読書活動、新聞活用（NIE）を充実し、判断力、表現力の育成に努める。
・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、カリキュラムマネジメントの実践に取組む。
・ユネスコスクールとしての理念の実現を目指す。
(3) 生徒指導
・通常学級における特別支援教育を推進する。
・個別指導（一条教室、かがやきR）の充実に努める。
・相談体制（アドバンスR、ケース会議）の充実に努める。
(4) 健康（体力・保健・食・安全）
○小中が連携した体力向上（増進）の充実に努める。
・食育指導の充実に努める。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	単位時間における授業のねらいの明確化と、個に応じた指導をすることで、進んで学習に取り組めるよう工夫する。 多様な学び合いの場の設定することで、進んで学習に取り組めるよう工夫する。	B	【達成状況】 ・教職員・保護者・生徒の肯定的な回答が90%以上であり、目標は達成していると考えられる。 【次年度の方針】 ・生徒の学習意欲がさらに向上するよう工夫する。
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 肯定的回答85%以上	主体的・対話的で深い学びにつながる道徳の授業の実践やそれを生活と結びつけることで、生徒の道徳力を向上させる。	B	【達成状況】 ・全ての肯定的な回答が90%以上となり、目標は達成していると考えられる。 【次年度の方針】 ・さらに道徳の授業の充実などをはかり、生徒の実践力を向上させることができるよう工夫する。
	A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 肯定的回答90%以上	毎月の生活目標を示して目標ある生活をさせるとともに、全教職員の共通理解を図り、生徒指導に当たる。	B	【達成状況】 ・全ての肯定的な回答が90%以上となり、目標は達成していると考えられる。 【次年度の方針】 ・教職員が率先垂範の姿勢で行動する。 ・移動教室や集会の時には教師が5分前行動を心掛け、生徒の意識を啓発することで、より一層規範意識を定着させていく。 ・生徒会学年委員会・生活委員会等で毎月の生活目標を立て、自律的な生活ができるよう支援していく。

生徒の姿	<p>A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>あいさつ運動の推進などで時と場に応じた言葉遣いやあいさつができるようにする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全ての肯定的回答が数値指標の85%を大きく上回った、十分に目標を達成できたと思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・あいさつ運動日だけでなく、日常生活からあいさつを進んで促すとともに、いつでも、どこでも、誰に対しても気持ちのこもったあいさつができるよう指導を継続していく。また、教職員が率先垂範してあいさつを行い、日々生徒に接していく。</p> <p>・生活委員会を中心に、あいさつ推進のポスターなどの制作や呼びかけを行い、あいさつ運動の活性化や習慣化を図る。</p>
	<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>自分の良さや個性を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画させることで、その達成に向けてあきらめず努力する力を高める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・保護者と生徒の肯定的回答がそれぞれ83.7%、84.7%と数値指標を若干下回ったが、おおむね目標は達成したと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校行事などを通して粘り強く目標に向かって取り組めるよう支援する。</p> <p>・日々の生活において、達成可能な目標をこまめに設定することによって、達成感や自己有用感を持たせるよう工夫する。</p>
	<p>A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>保健体育の授業において、段階的な指導の工夫とわかりやすい指導を工夫することで、生徒の興味・関心を高める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全ての肯定的割合が数値指標の90%を超えており、十分に目標は達成したと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 保健体育・学級活動等を通して日常的にこれまでの取組を継続していく。</p>
	<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>発達段階に応じたキャリア教育を行うことで、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力を育成する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・保護者と生徒の肯定的回答がそれぞれ83.7%、84.7%と数値指標を若干下回ったが、おおむね目標は達成したと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・ボランティア活動や生徒会活動、部活動などいろいろな活動を通して向上を図りたい。</p>
	<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>外国語の授業や総合的な学習の時間などでの言語活動の充実を図る指導によってコミュニケーション能力を高める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的な回答が82.3%であり、数値指標を若干下回ったが、おおむね目標は達成したと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・外国語だけでなく言語活動を充実させる活動を多く取り入れる。</p>
	<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答80%以上</p>	<p>総合的な学習の時間（宇都宮学）や地域ボランティアに参加することによって宇都宮の良さを多く体験・実感できるように工夫する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・保護者の肯定的な回答が79.2%であり、数値指標を若干下回ったが、おおむね目標は達成したと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・宇都宮学をうまく利用して、宇都宮の良さが体験できる内容をさまざまな活動に取り入れる。</p>
	<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答75%以上</p>	<p>読書活動や各教科でのICT機器の積極的な推進で、ICT機器や図書等を学習に活用する力を高める。GIGAスクール構想が具現化できるよう、積極的にパソコンを活用する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全ての肯定的回答が数値指標の75%を上回った、十分に目標を達成できたと思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・GIGAスクール構想のもと、ICT機器や図書を利用した活動を積極的に行う。</p>

	<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>地域学校園全体で効果的な道德教育を行い、それを地域学校園で実践することで、地域の高齢者に対する感謝やいたわりの気持ちを高める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員・保護者・地域住民・生徒の肯定的な回答が90%以上であり、目標は達成していると考えられる。 【次年度の方針】 ・今後も道德科の内容を中心に効果的な活動が行われるよう支援していく。</p>
	<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答75%以上</p>	<p>ボランティア活動や、NIE活動などを通して現在直面している諸問題に関して前向きに考えていく力を育てる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全ての肯定的回答が数値指標の75%を上回った、十分に目標を達成できたと思われる。 【次年度の方針】 ・さらにSDGsについての理解を深めるとともに、関連した活動を様々な活動に取り入れていく。</p>
	<p>B1 生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答80%以上</p>	<p>生徒会を中心に、クリーンアップキャンペーンウイーク・地区主催のボランティア活動などに積極的に参加する。 JRC委員会を中心に、地区体育祭等の係として積極的に参加する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・コロナの影響でボランティア活動がほとんど出来ず、保護者・生徒の肯定的な回答は80%以下となり、目標を達成することは出来なかった。 【次年度の方針】 ・新しい生活様式の下でも出来る活動を模索していく。 ・これまで同様、校内にボランティア活動の掲示物を掲示し、生徒の意識を高めていく。</p>
目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>教育相談部会において情報交換をしつつ行き行うと共に、報・連・相を確実にしながら素早く対応する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答が100%となり、目標を十分に達成していると考えられる。 【次年度の方針】 ・教育相談・特別支援教育部会やケース会等だけでなく、機会を捉え生徒の情報を迅速に伝達し共有することで、より適切な対策を検討していく。(各機関や小中の連携を含む)</p>
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>いじめ撲滅集会や道德での計画的な学習によって、いじめが許されない行為であることを実感する機会をより多くつくる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全ての回答は昨年度の回答より上昇した。保護者の肯定的回答は85.2%であり90%を超えることは出来なかったが、おおむね目標は達成できていると考えられる。 【次年度の方針】 ・いじめの未然防止のための取り組み等や指導状況や校内体制を、各学年便りや、HP等を利用し情報発信をする。また、問題への早期発見、早期対応のために生徒の様子や変化を見逃さないよう努め、見守り態勢をさらに推進していく。 ・スタンダードダイアリーや生徒との対話の中で、日々様子を把握し、保護者との連携を密にする。</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>教育相談や家庭訪問等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決をめざす。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員・保護者・児童生徒すべてにおいて肯定的回答の割合が90%を超えており十分に目標は達成していると思われる。 【次年度の方針】 ・教育相談や三者面談、普段の電話連絡等を通し、保護者との連携や関わりを密にしていく。QU検査や明るい学校生活アンケートの実施を継続していくことで生徒理解に努める。 ・適応支援教室や外部機関を紹介することで、今後の不登校改善に役立てていく。</p>

<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>国際交流協会指導員や日本語指導員との連携や家庭との連携を密にとることで、適切な対応支援する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は数値指標の90%以上となり、目標を十分に達成していると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・年度始めの職員研修(生徒理解)において、教員間での情報の共有をしっかりと行う。 ・今年度同様、日本語指導員との連携を密に行う。</p>
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>教師自らあいさつや声掛けをし、よりよい人間関係を醸成するとともに、学級経営や教育相談を充実させ、「居がい」のある学校づくりに努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答が88.4%と昨年度同様となったが、90%に近い値であり、全体として目標は達成していると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・これまでの取組は継続し、生徒と教師のより良い関係を築いていくために、生徒指導、教育相談の充実を図る。 ・QU 検査等を活用しながら居心地の良い集団づくり・学級経営を工夫していくとともに、教育相談等を通じて個に応じた指導・支援の充実を努めていく。</p>
<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>前時の復習としての小テストを実施するなど、基礎・基本の定着を図る。教員全員が年1回以上授業を公開し、互いに参観することによってOJT型研修を充実させ、指導力の向上を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全ての肯定的な回答が85%以上であり、さらに教職員・生徒においては95%以上となり、十分目標は達成していると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・さらに分かる授業・きめ細かな指導を行っていく。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>教育目標及び学校経営の方針を全職員が意識し、全教育活動でそれが生かせるように活動しながら業務を進めるようにする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的な回答が90%を超えており、目標を達成していると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・さらに、一体感をもって業務を行っていきよう工夫していく。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答85%以上</p>	<p>従来の業務内容をもう一度見直し、教員の業務内容の精選を行う。部活動地域指導者を有効活用した部活動の充実を図る中で、教員の業務縮減を行う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的な回答が85%を超えており、目標を達成していると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・さらなる効率化、部活動のありかたに関する改善を図っていく。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答80%以上</p>	<p>地域学校園各部会取組の充実を図る。 (・学習部会・生活部会・健康、体育部会・地域学校園事務室部会)</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・コロナの影響で十分な活動が出来なかったため、全ての肯定的回答が減少した。特に生徒の肯定的な回答が55.2%となってしまう目標を達成することはできなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・新しい生活様式に合わせた取組を小学校との連携を丁寧に取りながら実施していく必要がある。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答80%以上</p>	<p>地域協働活動推進員と連携し、地域協議会活動の有効活用や学校支援の取り組みを推進する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答が78.8%となり数値指標を若干下回ったが、おおむね目標を達成していると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・これまでの取組を継続し、地域協働活動推進員と連携して地域の人材を生かした学習支援等を充実させていく。</p>

<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答80%以上</p>	<p>家庭訪問、保護者会、三者懇談、オープンスクール等を活用し、保護者との連携を図る。</p> <p>地域協働活動推進員と連携し、地域協議会活動の有効活用や学校支援の取り組みを推進する。また、PTAとの連携を深め、学校運営の充実を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答が78.8%となり数値指標を若干下回ったが、おおむね目標を達成していると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・これからも保護者会、三者懇談、オープンスクール等を活用し、保護者との連携を図っていく。</p> <p>・引き続き防災訓練、ボランティア活動等を通して、地域との連携を深める。</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>避難訓練や防災訓練を行うことで安全に関する知識を高め、安全点検を毎月確実に行い、修繕箇所を早めに修繕する。地域防災マップをホームページにのせ危険箇所を周知する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員・地域住民は100%、保護者の回答は90%以上と目標は十分に達成したと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・内容を精選して実施する。</p>
<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答75%以上</p>	<p>図書の希望調査やICT機器の整備を積極的に行い、効率的に利用できるようにする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全ての肯定的回答が数値指標の75%を上回った、十分に目標を達成できたと思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・GIGAスクール構想のもと、ICT機器を利用した活動を積極的に行う必要がある。</p>
<p>B2 教職員は、あいさつや対応が丁寧で誠実である。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>誰に対しても気持ちのよいあいさつを教職員自ら率先して行い、誠実に接するよう努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・全ての肯定的回答が90%を超えており、目標が十分達成できていると思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・これからも教職員一人一人が意識して業務にあたるようにしていく。</p>
<p>本校の特色・課題等</p> <p>B3 教育相談を充実させて生徒理解を深め、組織的に不登校の予防、いじめの早期発見・早期解決を目指している。</p> <p>【数値指標】 肯定的回答90%以上</p>	<p>教育相談では生徒の話をじっくり聞き、個々の生徒理解を深める。いじめに対するアンケートを年4回実施し、いじめの早期発見、早期解決に努める。生徒指導部会や教育相談部会において情報交換をしっかりと行うと共に、報・連・相を確実にしながら素早く対応する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員・生徒の肯定的回答は90%以上であり、十分に達成できていると思われる。</p> <p>【次年度の方針】 ・これまでの取組を継続し、生徒に対する丁寧な関わりと理解を深める。</p> <p>・迅速で密な情報交換を行い、問題の早期解決に努めていく。</p>

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 今年度のアンケート結果は、全23項目中17項目に於いて肯定的回答がすべて80%以上を達成することができた。また、昨年と比べ肯定的回答が上昇している項目が多く見られ、おおむね本校の取組は妥当であったと考えられる。
- (2) 目標に達していない項目のNo.8とNo.9とNo.10については、80%以上を達成できなかったものの、肯定的割合がかなり上昇しており、学校での集中した取り組みが評価された結果であると思われる。
- (3) 目標に達していない項目のNo.18とNo.21では、コロナで活動が制限されたため特に生徒の肯定的回答が低下したものであると思われる。しかしながら、両項目とも出来る範囲での活動は行われていたため、教職員の評価は低下どころか上昇している。
- (4) ○地域学校園の各小学校との連携強化を図りながら、小中一貫教育を推し進めているが、コロナの影響で活動が制限されたため、特に生徒の肯定的回答の割合が低くなった。
- (5) 地域の方からの評価はたいへん肯定的なものであり、9つの項目で肯定的回答が100%となった。

## 7 学校関係者評価

- (1) ほぼ全ての項目で数値指標を達成していることは、先生方の指導の賜であると思います。
- (2) 学校評価の結果を見ても、一条中学校は子供にとって居心地のよい学校で、保護者、地域に信頼されている学校だと思えます。
- (3) ほとんどの項目で肯定的回答が80%を超えており、貴校の取組の確かさと、取組内容周知のための発信がなされていることが現れていると思います。
- (4) A10、A25の教職員と保護者との意識の差が少し気になります。宿題等で家庭での活用の見える化が必要なのかもしれません。
- (5) コロナ禍でも前向きに努力する生徒の様子がわかる。ボランティア活動や小学校との関わりが難しい状況だが、生徒が活動したい意欲を失わず持っているので今後活動が再開できるとよい。
- (6) 西地区体育祭にて、ボランティア活動お世話になりました。活動する機会に恵まれなかった今年度の生徒の回答は素直なものと思います。地域学校園の取組についても同様だと思います。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 今年度のアンケート結果は、全23項目中17項目に於いて肯定的回答がすべて80%以上を達成することができた。また、昨年と比べ肯定的回答が上昇している項目が多く見られ、おおむね本校の取組は妥当であったと考えられる。今後も生徒、保護者、地域に信頼されている学校になるよう努力していきたい。
- (2) 目標に達していない項目のNo.8とNo.9とNo.10については、80%以上を達成できなかったものの、肯定的割合がかなり上昇しており、学校での集中した取り組みが評価された結果であると思われる。今後も目標に達するよう努力していく必要がある。
- (3) 目標に達していない項目のNo.18とNo.21では、コロナで活動が制限されたため特に生徒の肯定的回答が低下したものであると思われる。しかしながら、両項目とも出来る範囲での活動は行われていたため、教職員の評価は低下どころか上昇している。来年度も、コロナ禍であってもできる内容を検討するなどの工夫が必要であると思われる。
- (4) ○地域学校園の各小学校との連携強化を図りながら、小中一貫教育を推し進めているが、コロナの影響で活動が制限されたため、特に生徒の肯定的回答の割合が低くなった。小学校との関わりが難しい状況だが、生徒が活動したい意欲を失わず持っているので工夫して活動していく必要がある。
- (5) 地域の方からの評価はたいへん肯定的なものであり、9つの項目で肯定的回答が100%となった。これからも地域の方々からも信頼され応援して頂ける学校づくりを推進したい。